

自動車保険だよ

2018.8 Vol.6

中面特集「加入者をたずねて」
檜原村



檜原村・神戸(かのと)「春日大社例大祭」
毎年5月3日に行われる檜原村神戸(かのと)地域総出の春日神社の例大祭。村人がみんなで行く立派な山車のお囃子にも多くの子どもや青年が参加。



東京都教職員組合
執行委員長
木下 雅英

自動車にまつわる遠い記憶をたどる。親父が仕事で使っていたオート三輪に乗せてもらった記憶が最初だ。子どもの頃、ミニカーを収集していた記憶も。文通をして大好きだった函館の黴いっばいの祖母が買ってくれたミニカーは、今も宝箱にしまつてある▼バイト代で初めて原付を手にしたのは大学に入ってからだ。ホンダCB50は性能も燃費もずば抜けていた。三重と奈良の県境や北アルプスの山間の道も難なく走り、姫路や金沢まで青春を運んでくれた▼大学で没頭したマンドリンクラブでは、車が部長の必需品と言われ、両親に泣きついて三菱ランサーを買ってもらった。ランサーは部活でもプライベートでも大活躍をした。両親には感謝の言葉しかない▼最初の赴任地は今年返還50周年を迎えた小笠原の母島だった。島しよでは免許も自動車も必須だ。当時の教頭に譲ってもらった中古車が塩害でものすごいスピードで錆びていったのを思い出す▼教職員なら何よりも都教組自動車保険に入ることが自分を守り、教職員で助け合う力にもなる。東京海上日動と桜保険事務所がどこまでも支えになってくれる。島しよの要望に応え、くらしや自然環境の困難に対応した共済も求められている。

第3回

加入者を たずねて

〜檜原村編〜

3回目の「加入者を訪ねて」は

東京都の檜原村です。

東京都多摩地域の中で唯一の村で、

村のほとんどが山と森という地形です。

新緑の村で加入者にお話をうかがいました。



1

拝島駅から五日市線で最終駅である武蔵五日市駅を降り、バスで33号線檜原街道を秋川に沿って山間の道を30分ほど西にはしると村役場が見えてきます。その少し先にある檜原小に、お仕事を終えた西村みやま先生を訪ねました。今年度異動してきたばかりの渡邊先生と新藤先生も顔を出してくださいました。渡邊先生は、若いうちに山の学校を経験したと異動されたそうです。

檜原村のこと

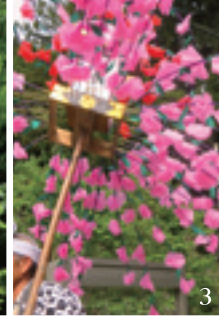
―豊かな自然と伝統芸能と―

まずは檜原村についてうかがいました。檜原村はまわりを急峻な山々に囲まれ平坦地は少なく、村の大半が秩父多摩甲斐国立公園に含まれる自然豊かな村です。村の中央を標高1000メートル前後の尾根が東西に走りその両側に秋川が流れ、この川沿いに集落が点在しています。新藤先生が異動されて初めて車で学校に向かう時、行けども行けども山間の道で本当にこの先に学校があるのか不安になったそうです。

各地域には、伝統芸能の神楽、囃子、獅子舞などが連綿と継承されており、子どもたちも大勢参加して毎年盛大に上演されています。また東京の奥座敷と呼ばれ、秋川渓谷、三頭の大滝や払沢の滝などのいくつもの滝、天然記念物の神戸（かのと）岩、小林家住宅（重要文化財）等々観光資源も豊富な村です。



4



3



2



7



5



6



9



8

親子二代でお世話に

西村先生のお母さんも東京都の教職員で、在職当時から都教組自動車保険に加入され、西村先生も弟さんも学生時代からバイクや自動車の保険に加入されていたそうです。しかも、3人それぞれに事故に遭い、桜保険にも大変お世話になったとのこと。ですから知り合いの先生にも紹介してくださったそうですが、その方が都教組自動車保険に切り替えた途端にご家族が被害事故に遭われて、その時も事故相談、対応のよさに感心されたというエピソードも話していただきました。

事故の時、加害者になっても被害者になっても教職員のために親切丁寧に対応してくれたことを経験しているので、同僚のお二人に「教職員なら絶対に入っておいた方がいい」と自動車保険をすすめていただきました。

大好きな学校

―桑と蚕を抱えて―

西村先生は大学生のころからへき地教育にあこがれ、3人しかいない分校を訪問したこともあったそうで、小規模で地域に育まれた檜原小は私のためにあるような学校、大好きな学校と楽しそうに話してくれました。

西村先生が部屋に入ってきた時、大事そうに大きな箱を抱えていたので中身をたずねたところ、中には蚕と桑の葉がぎっしり！「気温が低いから毛布でぐるんで家に持って帰る」とのこと。

教員になる前には専業農家もしていたというだけあって、本当に自然豊かな檜原村の学校にピッタリの先生で、教わる子どもたちの楽しそうな笑顔が記者の目にも浮かぶようでした。



11



10



12

- 1.小林家住宅:標高750メートルにある重要文化財の民家 屋根は「檜原葺き」といわれる茅葺き
- 2.払沢(ほっさわ)の滝:東京で唯一の「日本の滝百選」に選ばれた名瀑
- 3.桃の花飾り:神戸の春日神社の例大祭で山車引きに先行して担がれる花飾り
- 4.神戸岩(かのといわ):東京都の天然記念物
- 5.取材中のみなさん
- 6.西村先生が育てている蚕(教材です)
- 7.渡邊先生と新藤先生
- 8.西村みやま先生
- 9.檜原学園檜原小学校の校舎
- 10.五日市ほうとう:五日市、檜原村に伝えられた信玄ゆかりのほうとうに地場産業で養殖した猪豚の肉をアレンジした
- 11.ちとせ屋:地元で有名な豆腐屋さん。「豆腐ミルクアイス」や「うの花ドーナツ」なども観光客に人気の商品
- 12.天狗:神戸の春日神社の例大祭で山車引きを先導する

読者のコーナー

「自動車保険だより」VOL.5で
ドライブエージェントパーソナル特約を特集したところ、

反響続々!

表紙のワンちゃんたち皆優しい目をして
いますね。
とてもいやされています。
(M.K様)

ドライブエージェントパーソナル
のことが、詳しく載っていて、とて
も良かったです。あらためて、ドラ
イブレコーダーの必要性を感じま
した。(石田 基実様)

ドライブレコーダー購入を検討し
ているときに、その特集は時宜を
えたもので、とても参考になりま
した。これからもよろしく。
(小堀 敏夫様)

今回のクイズはこちら

檜原村を流れる
溪谷の美しい川の名前を
漢字2字で教えてください。

100名様に
1,000円分の
図書カードを
プレゼント!



桜保険の
ホームページに
答えの
ヒントが...

桜保険 検索

前回の
クイズの答えは
「犬」でした。

*クイズおよび抽選の実施者は東京都教職員組合・東京都障害児学校教職員組合です。

■応募締切: 2018年9月28日(金)当日消印有効

■応募方法: 郵便ハガキに、クイズの答えと郵便番号・住所氏名・ご意見・ご感想をご記入の上、桜保険事務所までご応募ください。

■Webでの応募方法: 桜保険のホームページの最新ニュースの「ヒント」にある応募方法でご応募ください。

■抽選・発表: 正解者の中から厳正な抽選のうえ、当選者に図書カードを発送し、発表とかえさせていただきます。

■注意事項: いただいたご意見を自動車保険だより作成のために利用させていただくことがあります。いただいたご意見を紙面に掲載させていただくときは氏名を表示させていただくことがあります。※お客様の個人情報は厳重に管理し、商品の抽選・発送・お問合せにのみ使用します。

■送付先: 〒188-0011 東京都西東京市田無町3-2-17桜保険事務所気付 自動車保険だより編集委員会「クイズ」係

ミニショット

2018年度 都教組共済事業委員のみなさんです



後列右から、事業委員
長 金子秀夫さん、(以
下事業委員)小宮幸夫
さん(本部)、池田吉成
さん(中野)、高橋秀和
さん(本部)
前列右から、中里尚子
さん(大田)、石津あや
さん(台東)、谷口はる
みさん(江東)

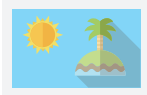


都教組事業委員会では、都教組執行委員会の諮問を受け、
加入者の声を生かした共済・保険活動推進のための話し
合いをしています。



投稿大募集

写真やイラストの投稿をお待ちしています。
採用された方には謝礼をお送りします。



編集後記

東京は広いなあ。山間地の先生たちのご苦労に思いをはせながらも新緑
と青空の写真を見ながら思わず深呼吸しました。いつも日曜の朝の新宿
でホリデー快速あしがわ・おくたまにハイキング姿で乗り込む人たちがう
らやましくみていました。今年の夏は絶対行こう!(N)



自動車保険だより編集委員会

TEL.042-467-4152 FAX.042-461-0366

自動車保険だよりVol.6 (2018年8月)

発行元/〒188-0011 東京都西東京市田無町3-2-17 桜保険事務所内